

緑化だより

No.180 令和 4年3月号



セリバオウレン

- 季節の花(はは(貝母))
- 昆虫の話(3月のガ)
- 小さな世界こけ(コケが観察できる場所(17)
ヤマトフデゴケ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

ryokka 緑化センターの本

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <https://ryokka-c.jp>



季節の花

はは (貝母)

「時々(ときどき)の 花は咲けども 何(なに)すれぞ
母(はは)とふ花の 咲き出(で)来(こ)ずけむ」

丈部真麻呂 (はせつかべのみまろ) 万葉集 巻20 ; 4323

これを訳しますと

(季節ごとに花はいろいろと咲くけれど、どうして「母」という花が咲いたことがないのでしょうか。)

この歌は、奈良時代、天平勝宝七年(755)二月に詠まれた歌です。

丈部真麻呂が、東国(静岡)から九州に防人として赴任したとき、つらくて心細さからか、友人たちは国から家族の便りが届くのに、私にはどうして母から便りが届かないのであろうか、と母を偲び思いだして詠われたものです。

万葉時代には男子は防人(さきもり)つまり九州を防備にあたる兵士として三年の勤めが決められていました。

バイモ(貝母)は、別名編笠百合(アミガサユリ)ともいいます。

古名では「はは」と呼ばれて古くは「母栗(ははくり)」と呼んでいました。

ユリ科バイモ属多年草で中国原産の球根植物で、草丈は20~50センチ、花の色は薄黄緑色、内部に紫色網目状の紋があり、3~4月に編み笠の形に似た花が下向きに咲きます。

球根は二枚貝のハマグリに似た姿をしており、そこから花茎をのぞかせ花を咲かせます。その姿から貝母(バイモ)と呼ばれ、バイモ属は中国大陸から中近東に多数の種があります。

日本では観賞用として栽培され、その花は茶花に用いられますが、中国では冬虫夏草、天麻(オニノヤガラ)とともに、「三大高貴薬草」とされ、滋養強壮薬です。(上村)



バイモの花

昆虫の話

3月のガ

昨年「11月のガ」で晩秋に羽化するキリガを紹介しましたが、3月に入り、少しずつサクラの蕾がふくらんでくると、早春のキリガが羽化します。早春だけに見られるキリガは国内に28種が確認されていますが、今回は、広島市周辺で割と普通に見られる14種を写真で紹介します。

ほとんどの種が名前のおりカバ、カシワ、ブナなど広葉樹を食樹としますが、ケンモンキリガはヒノキとスギ、マツキリガはマツ類と針葉樹を食樹とします。

3月は暦の上では春ですが、中国山地など標高の高いところには残雪があり、気温が氷点下になることもしばしばです。早春のキリガはこのような気象条件でも羽化し、夜間活発に活動し、灯火によく飛来します。3月はまだいろいろな昆虫の活動が停滞して

いる時期ですが、比較的自然度の高い森林地帯で白布を張って夜間水銀灯を点灯すると、条件の良い新月の晩には白布を埋め尽くすほどの大量のキリガが飛来します。

早春のキリガは褐色系の地味な色調のものがほとんどですが、地色や黒斑が種ごとに異なっており、よく観察するとなかなか格調高い模様をしています。わびさびの世界といったところでしょうか？

さて、今月でチョウとガのことを書き綴って1年を迎えました。広島県には136種のチョウと2,200種を超えるガが確認されていますので、その一部を紹介したにすぎませんが、こんなチョウが身近にいたのかとか、特に脚光のあたることのないガに少しでも興味をもっていただけたら幸いです。

筆者が昆虫採集をはじめて半世紀近くになりますが、その間、気候や環境が変化して、30年前には普通に見られた種が、非常に少なくなったり、絶滅状態になったりしています。自分の子どもや孫の世代は、そういった種が、まるで恐竜と同じように、いないことが当たり前になってしまうことに危機感を覚える今日この頃です。(相良)



スギタニキリガ	キンイロキリガ	シロヘリキリガ	ブナキリガ
アオヤマキリガ	カシワキリガ	ケンモンキリガ	クロミミキリガ
カバキリガ	アカバキリガ	マツキリガ	チャイロキリガ
		ウスベニキリガ	ホソキリガ

小さな世界 こけ

コケが観察できる場所 (17)

薬草園を谷筋に沿って入って行くとオタカラコウの群落があります。そこには、伐採した木が転がっています。伐採されて数年たっているためどれも朽ちかけています。

朽木に着生しているコケを見ると、ホソバオキナゴケやトヤマシノブゴケに交ざってヤマトフデゴケが見つかります。

セン類シッポゴケ科ツリバリゴケ属のヤマトフデゴケは、やや乾いた岩や地面などに着生しますが、ここでは朽木に着生しています。

長さ1cmくらいの茎が立ち上がり、茎の下には長さ5~6mmくらいの細い葉が茎に沿うように粗くつき、先端は放射状に広がっています。乾燥すると葉先はくっつきます。その様子を筆に見立てたのが和名の由来です。

茎の先は触れると落ちやすく、落ちた茎からも新しい個体を再生します。(山根)



ヤマトフデゴケ 湿ったとき



ヤマトフデゴケの拡大



ヤマトフデゴケ 乾燥したとき

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| ○ 3月3日(木) 『 針葉樹の見分け方 』
室内で実物の葉っぱを見て、特徴や見分け方を学びま
※自由参加・無料 ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：森林植物研究家
埴田 宏 |
| ○ 3月5日(金) 『 さくらあれこれ 』
～春の手入れを学びまおう～
さくらの歴史を知り、管理方法を学びましよう
※自由参加・無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師 樹木医
正本 大 |
| ○ 3月9日(水) 『 コケの観察会 』
室内で基本を学んだあと、屋外で観察します。
※自由参加・無料 ルーペ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 3月18日(金) 『 3月の自然探勝 』
～早春の息吹、樹木の冬芽と草花の観察～
散策しながら植物を観察します
※自由参加・無料 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：森林インストラクター
駄賀 恒男 |
| ○ 3月18日(金) 『 シダの学習会 』
～園内のシダを観察しよう～
散策しながら植物を観察します
※自由参加・無料 | 13:30～15:00 学習室 集合
講師：コーディネーター
駄賀 恒男 |
| ○ 3月19日(土) 『 早春のバードウォッチング 』
散策しながら野鳥を観察します
※自由参加・無料 双眼鏡持参 雨天中止 | 10:00～12:00 学習展示館前 集合
講師：日本鳥類保護連盟会員
吉見 良一 |
| ○ 3月28日(月) 『 早春の自然探勝 』
歩きながら植物を観察します
※自由参加・無料 | 10:00～12:00 学習展示館前集合
講師：広島県文化財保護審議会委員
(植物生態学) 吉野 由紀夫 |

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、
参加者はマスク着用、手・指の除菌、密集・密接を避けるようご注意ください。
また状況によっては、研修内容の変更や中止となる可能性があります。
ホームページ、お電話等で最新の情報をご確認ください。

☆お知らせ・ご案内☆

- ・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2022 春 3月12日(土)～5月22日(日)
緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット！
- ・さくら祭り 3月19日(土)～4月17日(日)
さくらクイズに答えて景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます。
- ・第2回 ピクニックウォーク 3月27日(日)



◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

- ・語り絵展 ～ステンドグラス～ 3月3日(木)～3月31日(木)
- (ボード展示)
- ・語り絵展 3月3日(木)～3月31日(木)



「語り絵展」～ステンドグラス～より